自治会だより　ふれあい　2018年10月号

宇堅1019番地(宇堅公民館内)973－3558（ﾌｧｯｸｽ兼）
Email：　uken@public.city.uruma.okinawa.jp

【 10 月 の 行 事 】

2日(火)	午前 9:00	ＥＭゆがふ会（石鹸づくり）
9日(火)	午後 1:30	手づくり･手縫いの会
	午後 2:00	ＥＭゆがふ会（石鹸づくり）
14日(日)	午前 9:00	天５親睦ＧＧ大会（天願多目的広場）
16日(火)	午後 2:00	ミニデイサービス（グラウンドゴルフ）
21日(日)	午前10:00	カジマヤーパレード
23日(火)	午後13:30	手づくり･手縫いの会
28日(日)	午前 9:00	区内清掃（雨天時延期します）

２１・２２日：うるままつり／

【 11 月 の 行 事 】

5日(月)	午前 9:30	地震･津波避難訓練（宇堅守の会）
10日(日)	午後17:00	うけんまつり
18日(日)	午前 9:00	長寿会グラウンドゴルフ
20日(火)	午後 2:00	ミニデイサービス（室内レク）
27日(火)	午後13:30	手づくり･手縫いの会

【 12 月 の 行 事 】

11日(火)	午後 2:00	ＥＭゆがふ会
18日(火)	午後 2:00	ミニデイサービス（クリスマス会）
調整中	午後 4:00	長寿会：忘年会
調整中	午後 5:00	子ども会：クリマス会

【その他の行事】
１５・１６日：うるま市産業まつり／２５日：２学期終業

晩秋入り

数年前の停電を思い出させた二週連続の台風。宇堅でも被害が少なくありませんでした。自然災害の力は、農水産業をはじめ、経済面での影響は大きい。改めて、便利さが進む生活環境のもろさを実感しました。今一度、自然に対し謙虚になるべきだと…。

悲しみは人それぞれの秋の風

句集『舞扇』(RI作)より

ウ～ン！？〝さまざまな悲しみの別離か？人それぞれ〟だし。秋と悲しみは親和的か？

再々掲　うけんまつり

皆さんのご協力をお願いします。

①景品募集（新品だが、要らない品物。まだ十分使える品物）
②実行委員会メンバー　まだまだ募集（ワイワイと楽しんで、祭りを動かそう）

目玉の抽選会への参加はチケットが必要です。一世帯一枚となります。本自治会広報紙の一角の抽選券を切り取って、記名の上、当日、お持ちください。

抽選券（うけんまつり）

注意：この券は、景品抽選会の参加券です。参加者のご氏名、住所（番地）を記してください。
当日、受付けへご提出ください。

氏名：

住所：宇堅　　番地

健 診 日 程

「うるみん」での健診は下記の通りです。
通院している方も健康診断が必要です。
都合の良い日に受診してください。

注意：　保険証を持参すること

※受付：午前＝8:30　／　午後＝1:00

6	19 日（火） 20 日（水） 24 日（日） 28 日（木） 29 日（金）		11	27 日（火） 28 日（水）
7	29 日（日）		12	8日（土） 9日（日）
8	18 日（土） 19 日（日） 22 日（水）		1	22 日（火） 23 日（水） 26 日（土）

自治会勉強コーナー　（このコーナーは面白いな～、すごいな～っと思った地域を紹介）

開かれた自治会構想
～高齢化･国際化に即した地域づくりへの挑戦～

埼玉県　川口市　美浜区
芝園団地自治会 文化部長 岡崎広樹

外国人集住地域における住民交流の促進に必要なこと

①住民のかけはしや緩衝材になる第三者

外国人住民は、母国の生活習慣を付けているため、日本の生活習慣と異なる振る舞いによる問題を自然ともたらします。これに対して、日本人住民は不満を抱く一方で、外国人住民の中にはその不満を直接ぶつけられた経験をしたことで、団地での生活に不意案を感じている人もいます。つまり、双方が問題の当事者になるため、交流の重要性を訴えるだけでは絵に描いた餅にしかなりません。

そこで、まるで弁護士が示談の仲介をするかのように、双方の住民の間に立って、時にかけはし、時に緩衝材の役割を担う第三者が、住民交流の促進に必要です。例えば、当団地では、芝園かけはしプロジェクトの大学生が、双方の住民と人間関係を築くことで、一つの場に集まることを促す「かけはし」の役割を担っていました。

また、日ごろの不満が、交流の最中に顕在化することもあります。事実、芝園多文化交流クラブでは、日本人住民が外国人住民に、騒音などの問題を強い口調で問いただすこともありました。その際、大学生が、状況を悪化させないようにフォローする「緩衝材」の役割を担っていたわけです。つまり、第三者が陰日向に多様な役割を担うことで、一つの場で交流することを可能にしていたのです。

②関心の異なる人々に対する情報伝達の工夫

現在の活動は、必ずしも多くの住民に支持されているわけではありません。一方で、自治会はその会員の利益を中心とした団地全体に資する地域づくりを担っています。従って、一部の人々にしか満足して貰えない取り組みは、その目的を達成しているとは言えません。やはり、多くの住民に賛同してもらえることが望ましいのです。

仮に、地域住民の自治活動に対する関心度を区分してみると図のとおりになります。

関心度	項目	内容
高	賛成･反対	活動に賛否のある状態
↑	参加	賛否は別で活動に参加している状態
	興味	賛否は別で活動に興味のある状態
↓	無関心	活動を知っていても関心のない状態
低		

↑ 自治会活動に対する認識

図1　地域住民の自治会活動に対する関心度

これまでの活動を振り返ると、①住民間のかけはしや緩衝材になる第三者、②関心の異なる人々に対する情報伝達の句風、③外国人居住者にも伝わる情報発信、という3点が住民交流の促進に必要であると痛感しています。ここでは、これらの詳細をご紹介します。

多くの住民に賛同してもらいたい一方で、２４５４戸もある団地の一軒一軒を説明して回れない上に、現在の自治会活動を知らない方がたくさんいました。つまり、自治会活動への関心を高めていくことが課題だったのです。

そこで、まずは認識してくれる方を増やして、無関心な方に興味を持ってもらうために、幅広く情報を拡散できるメディアに働きかけました。イベントの際は、主要な新聞社やテレビ局に必ず取材依頼をして、これまで７０回以上の取材を受け、〝新聞やテレビで見たよ〟と声を掛けてくれる方が増えました。

【区長のドゥーチャイ、ウムイ（編集後記）】

夏場の台風は、本島をから逸れていたが、秋台風は直撃でした。今年は北海道から先島にかけて列島縦断のルートを取り、大きな被害をもたらしています。

電気がないと、ほとんど何もできない状態。水道もアウトになると、凄まじい不便さであっただろう。

便利さと反比例する生活基盤の脆さ。どこで釣り合いをとれば、どんな生活基盤がいいのか、考えてしまいます（少しだけど…）。

「京都ぎらい」（井上章一著／朝日新書）。結論から言えば、著者は好きなんですね京都が。京都府は、15市10町1村で構成され、中心地の京都市内部でも住民の意識の差が大きい。洛中と洛外という表現に示されたプライド。一括りにできない京都。芸子と芸者の違い、袈裟姿で呑む坊主、お布施、等々、いろいろと面白い。快読でした。

（８月末）	宇　堅（外国人除く）		うるま市全体（外国人含む）	
人口(男/女)	1,210(640／570)	△4(1/△5)	123,571 (62,018/61,553))	31(34/△3)
世 帯 数	477	△6	51, 957	67

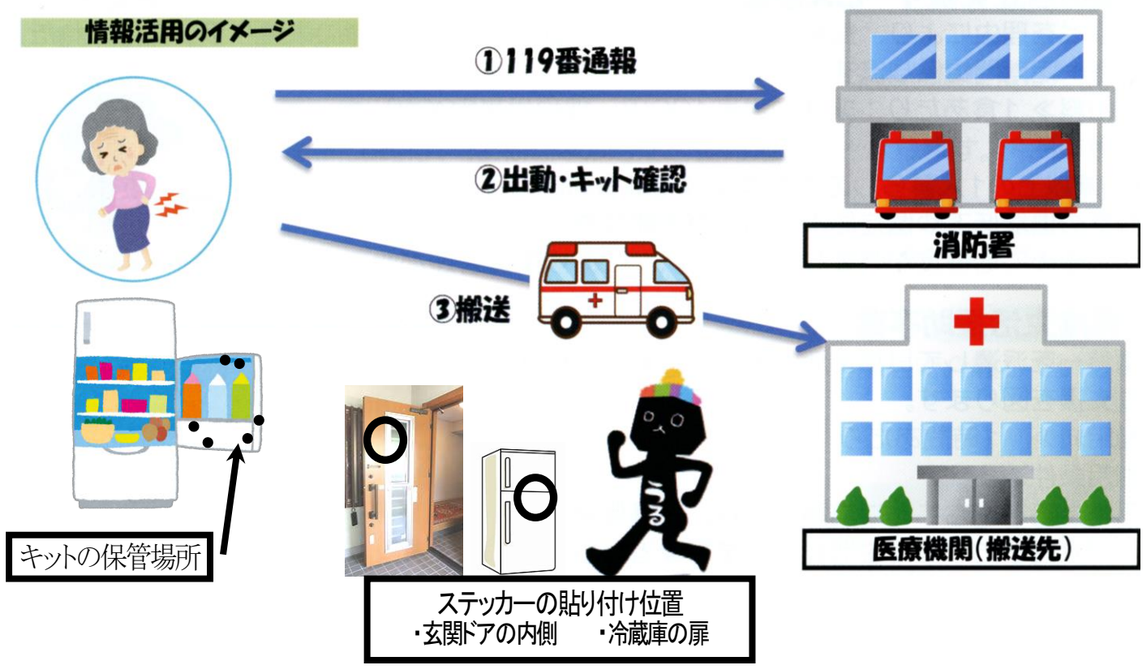
救急医療情報キット　配布事業

健康に不安を抱える高齢者や障がい者の安全安心を確保するために、以下の情報を専用容器に入れ、冷蔵庫に保管しておくことで、万一の緊急事態に迅速な医療活動が行えるように備えておくものです。

①かかりつけ病院　②緊急連絡先　③持病　④診察券（ｺﾋﾟｰ）　⑤健康保険証（ｺﾋﾟｰ）

活用方法

❖１１９番通報で駆けつけた救急隊員が「救急医療情報」を確認する　⇒　❖情報を参考に早めの医療活動を行う



★公民館で申し込みを受け付けます。

「地震・津波避難訓練」

十一月五日（月）に実施します。実際に歩いて、避難経路や移動時間の確認をします。また、防災・減災に向けた情報提供などを行います。

多くの区民の参加をお待ちしています。

❖日時：一一月五日　九時四五分集合

❖場所：名護アパート

「宇堅守の会」の会員募集中

主な目的は、見守りの必要な方（高齢者世帯など）の把握、目配り、そして、地震・津波避難訓練、地域の防災等の取り組みです。無理しない・息の長い活動を進めています。

【定例会】❖偶数月の第２木曜日　午後２時

10月の区内清掃にご協力を！

宇堅区自治会では、年間3回の区内清掃を実施しています。地域の住環境を維持管理することは大切です。若い層のご参加をお願いします。

お子さんと一緒のゴミ拾いもグッド！

お詫び

先月の行事予定に区内清掃の日時の誤りがあり、誠に申し訳ありません。参加された方ありがとうございます。

敬　老　会　2018.9.16

宇堅を築いてきて下さった大先輩方への感謝と健康・長寿を祈念して開催した敬老会に１３０名が参加しました（招待６４名、一般６０名、子ども２０名）。また、多くの方々から寄付・寄贈をいただきました。誠にありがとうございました。幕開には区外のゲスト、空手では外国からのゲスト、友の会の皆さん、余興のトリは元気な宇堅の壮年層のグループと賑やかでした。最後を華やかに締めてくれました。ありがとうございました。

寄付者：うるまの里、久田友正、伊波ヒロ子、うるま市社協、天願小学校

寄贈者：具志川火力発電所・沖縄ﾌﾟﾗﾝﾄ工業・沖縄健康創業、㈲大洋建設、平良栄順、三成工業、今帰仁酒蔵

オープニングの子ども会エイサー。毎回、カリーを付けてくれます。ありがとうございます。

琉球舞踊の姉さん方も頑張っています。
オーストラリア（確か？）とイタリアからのゲストも迫力ある演舞。